

さいたま市長 11月定例記者会見
平成24年11月22日(木曜日)
午後1時00分開会

- 進 行 それでは、市長定例記者会見を始めさせていただきます。
記者クラブ幹事社の時事通信社さん、進行よろしくお願ひいたします。
- 時事通信 幹事社の時事通信です。よろしくお願ひします。
それでは、発表項目につきまして、市長からご説明よろしくお願ひし
ます。
- 市 長 皆さん、こんにちは。先日、首都圏連合フォーラムが開催され、席上
2020年東京オリンピック、パラリンピックの実現に向けまして、首都
圏が一丸となって招致活動を支援することを確認をいたしました。本市と
しても、招致の機運を盛り上げていきたいと考えております。記者の皆さん
にもご協力をお願ひいたします。
では、本日の議題に入らせていただきます。

市長発表

議題1：さいたま市議会 12月定例会提出議案について

本日の議題は2件です。初めに、議題1「さいたま市議会12月定例会提出議案について」説明をいたします。

平成24年さいたま市議会12月定例会提出議案につきまして、議案数は合計で55件でございます。11月28日より開会をいたします。

議案の内訳であります、専決処分報告議案が1件、予算議案が3件、条例議案が39件、一般議案が6件、道路議案が2件、人事議案が4件でございます。専決処分報告議案につきましては、衆議院の総選挙に係る経費についてでございます。

予算議案から説明をさせていただきます。

予算議案につきましては、一般会計補正予算、それから特別会計補正予算につきましては、食肉中央卸売市場及び屠畜場事業の特別会計補正予算、それから、(企業会計については)病院事業の会計の補正予算ということでございまして、以上3件でございます。

補正額としましては、一般会計が5億8,789万円、それから特別

会計が380万円、そして企業会計が1億3,818万7,000円ということで、合わせまして54億2,987万7,000円というものでございます。

予算議案につきまして、主な事業をご説明をいたします。

1つ目は、「地域経済の活性化」ということについてでございます。景気が低迷している中で、地域経済の活性化を図るために、早期発注が可能な事業を追加で実施をすることによりまして、市内業者の受注機会の拡大を図ってまいりたいと考えております。

具体的には、1つが公共施設の修繕等でございます。市民利用施設でございますコミュニティセンター、それから市民会館、公民館、また児童センターや市立の保育園など、施設機能が低下しているものに対する修繕を前倒しして実施をする予定でございます。また、市立の保育園の完全給食実施に向けました給食室の改修を前倒しで実施をいたします。それは、10園を予定いたしております。

2つ目が道路整備工事等でございます。浦和区の市道I 403号線及び西区の指扇北土地改良区内の道路整備についてでございます。

そして、3つ目が道路及び排水路事業の発注量、業務量の平準化でございます。年度末、また年度当初に十分な業務量を確保できるように、発注を平準化しております。

2つ目が「防災対策」ということでございます。防災対策の1つ目は、本庁舎の耐震診断の結果が、「耐震性がやや劣る」とのことであったことから、防災中枢拠点施設として機能維持を確保するために、本庁舎の耐震補強設計等を実施いたします。

2つ目が、市民の耐震診断に対する要望が増えてきております。当初予算に不足が見込まれるために、木造住宅耐震診断員の派遣の予算を拡大いたします。

3つ目は、危機事案発生時に対応するため、防災拠点施設となります(仮称)危機管理センターの実施設計に係る費用でございます。

3つ目が、「扶助費等の不足額」への対応ということでございます。この

自立支援給付等事業などの扶助費が当初予算を上回る執行が見込まれることから、不足見込額を補正するものであります。

1つ目が、障害者自立支援法に定められております介護給付、訓練等給付、補装具及び自立支援医療などの自立支援給付を実施する自立支援給付等の事業でございます。

2つ目が、乳幼児及び児童等の医療費を助成する子育て支援医療費に関するものでございます。

そして、3つ目が生活保護法に基づく生活保護事業に関するものでございます。

また、「その他」として1事業をご紹介しますと、浦和美園駅東口に整備をいたします（仮称）浦和美園駅東口駅前複合公共施設の実施設計に関する費用となっております。

続きまして、条例議案でございます。条例議案は、39の条例議案のうち33件が地域主権一括法関連の条例議案となっております。

地域主権改革一括法の制定によりまして条例制定権が拡大したこと、県の権限が市に移譲されたことを受けまして、施設、それから公物の設置管理の基準等で、従来国の法令や県の条例で定めておりました基準について、本市の条例で基準を定めるものでございまして、条例の新規制定が29件、条例の一部改正が4件ございまして、合わせて33件ということになります。

なお、市の独自基準といたしましては、例えば特別養護老人ホーム等の居室の定員の基準につきましては、国の基準は1人、特例で2人と記述されておりますが、本市の基準では4人以下と定めております。

また、保育所の設備の面積の基準につきましては、乳児室、乳児0歳児1人につきまして、国の基準では1.65平方メートル以上となっておりますが、本市の基準では5平方メートル以上となっております、特に市長が認める場合には3.3平方メートル以上と定めております。

また、満2歳未満の幼児1人につきまして、国の基準では1.65平方メートル以上、本市の基準では3.3平方メートル以上ということで、質

的な充実を図っているというところでございます。

「その他の主な条例議案」についてご説明をいたします。

1つ目が、「さいたま市保育所条例の一部を改正する条例」でございます。これは、(仮称)大宮駅西口第四地区複合施設、通称「のびのびプラザ大宮」の設置によりまして、さいたま市立桜木南保育園をさいたま市立桜木保育園に統合いたしまして、同保育園を同施設内に移転することに伴いまして、条例の一部を改正するものでございます。

そして、2つ目は「さいたま市営自転車等駐車場条例の一部を改正する条例」でございます。これは、さいたま市営の、武蔵浦和駅西自転車等駐車場の新設に伴いまして、同自転車等駐車場の名称、それから位置、利用時間及び利用料金を定めるために、条例の一部を改正するものでございます。

そして、3番目が「さいたま市暴力団排除条例」でございます。これは暴力団排除活動の推進によりまして、市民生活の安全と平穏を確保し、社会経済活動の健全な発展に寄与するために、この条例を新たに定めたものでございます。

次に、「主な一般議案」でございますが、1つ目が(仮称)内野地区公民館建設工事請負契約についてでございます。

そして、2つ目がさいたま市の特定の事務を取り扱わせる郵便局の指定の取り消し及び変更についてということでございます。

市長発表

議題2：「さいたまキッズなCity2012を開催します」

続きまして、議案の2でございますが、「さいたまキッズなCity2012」についてご説明をさせていただきます。

「さいたまキッズなCity2012」とは、昨年さいたま市10周年の記念事業の一環として開催された事業でございますが、今後も継続をしていきたいと考えておりまして、社会、家族で子供、青少年を育み、子供、青少年の社会参画意識を醸成し、子供が輝く絆で結ばれたまちの実現を目

指そうということを趣旨とした催し物でございます。

具体的には、日時は12月の15日土曜日並びに16日の日曜日、2日間にわたってお送りいたします。会場は、大宮ソニックシティと、そこに隣接をしております鐘塚公園でございます。

催しの内容としましては、「ワーク・ライフ・バランス会議」、「子どもの遊びシンポジウム」、「青少年の主張大会」、「青少年フォーラム」、「ママまつり in さいたま」など多岐にわたっております。

それでは、個別の内容について少しご紹介をさせていただきます。

まず、「ワーク・ライフ・バランス会議」についてご説明をいたします。ゲストに、埼玉県出身で、現在5歳のお子さんを育てていらっしゃる女優の櫻井淳子さんをお招きしまして、「ワーク・ライフ・バランスの実現と子育て支援」というものをテーマにして、仕事と子育ての両立などについてパネルディスカッションを行うものでございます。

パネリストは、櫻井さんのほか、子育て中のお父さん、お母さんの世代の方々でございまして、私も出演をさせていただきます。事前申し込みも不要でございますので、気軽に参加いただきたいと思います。

次に、「子どもの遊びシンポジウム」でございます。「まち遊びと子縁コミュニティの形成」をテーマに、市内のNPO法人の活動発表や世界各国の事例紹介、それから子供を取り巻く環境の問題とその解決方法などにつきましてパネルディスカッションを行うものでございます。この子縁コミュニティとは、子供を介したコミュニティ、また子供を中心としたコミュニティのことございまして、ぜひお父さんやお母さん、放課後チャレンジスクール等の関係者、また興味のある方に幅広く参加をいただきたいと思いますと考えております。

続きまして、「青少年の主張大会」でございます。これは、今年は青少年育成さいたま市民会議設立10周年記念大会といたしまして、小中高校生が、「日ごろお世話になっている方々へ」というテーマと、従来の自由テーマと2つのテーマで発表を行っていただくものでございます。

また、下の青少年フォーラムにつきましては、公募していただきました青少年20人の若者たちが「わたしたちが考える居場所」というものをテーマにして、グループ協議を公開で実施し、その成果について発表を行う

ものでございます。

どちらも青少年への理解を深めるよい機会であると考えておりますので、ぜひごらんいただきたいと思います。

続きまして、「ママまつり in さいたま」でございます。この催しは、地元のママたちが企画・運営する、ママたちの、ママたちによる、ママたちのためのイベントでございます。暮らしのテーマで構成されているブースが4つございまして、ママ友や地域とのつながりを楽しめるものとなっております。このママまつりは、全国各地で開催されておりますが、埼玉県内では今回が初の開催ということになります。

続きまして、「のびのび広場」でございます。これは、いろんな遊び道具を積んだプレイトラックやあそびテント、ステージイベントなどが展開をされまして、小さいお子さんも楽しめる広場となっております。

そして、その下の「ミニ大宮」でございますけれども、昨年も「ミニさいたま」というのをですね、さいたまスーパーアリーナで実施させていただきました。これを区を単位として実施をするものでございます。32人の実行委員の子供たちが「まち会議」を行ってつくり上げました、子供が主役で、子供だけが区民になれる遊びのまちというものを設けて、これらを展開するというものです。子供が社会参画意識を醸成するすばらしい企画でございます。

以上、この「さいたまキッズなCity 2012」約1万人の市民の方々の入場を見込んでおります。多彩なイベントとなっておりますので、ぜひご家族でお出かけをいただきたいと思います。

議題の説明は以上です。

議題に関する質問

- 時事通信 市長からの発表項目について質問がある社をお願いします。
- テレビ埼玉 テレビ埼玉ですけれども、本庁舎の耐震補強の関係なんですけれども、非常に大がかりな工事になると思うんですけれども、今新庁舎の移転や建て直しの是非をめぐって検討会を立ち上げるということなんですけれども、補強をしっかりとやったから、このままでいいんじゃないかという結論も当然出てくるんじゃないかなと思うんですけれども、今回の補強工事というの

は、今後の議論に影響を与えるというふうにお考えでしょうか。

○ 市 長 現時点と申しますかですね、今回の耐震補強については、やはりさいたま市役所は浦和区役所も一緒に入っておりますし、これからいつ起こってもおかしくない災害のために中心的な役割を果たす施設でありますので、それを少しでも早く耐震化を進めていくことが必要と考えておりますので、そういう意味では今後の本庁舎のあり方の問題とは別個の問題と私たちは考えて、まずは安全性を高めて、職員、それから市民の皆さんの安全をしっかりと確保するという視点で取り組んでいくということでございます。

○テレビ埼玉 別の問題というふうにも考えていらっしゃるということでしょうか。

○ 市 長 はい、そういうことです。

○ 時事通信 そのほかいかがでしょうか。

○ 埼玉新聞 埼玉新聞ですけども、暴力団排除条例なんですが、今制定と同時にですね、北九州のように暴排条例に対する悪い影響みたいなものも出ていると思うんですが、そのあたりについていかがお考えでしょうか。

○ 市 長 そうですね。今国を挙げて、また各地方自治体がですね、この暴力団排除条例というものを整備して、それぞれの地域の事務事業から暴力団を排除しようと、いろんな形で取り組みが行われておりますので、私たちもその一環としてそういう取り組みをしっかりとしていこうと考えております。

その中で、今後としては、埼玉県警などとも協力をしながら、そういった市民活動や市民に影響がないような形でしっかりと進めていきたいと考えております。

○ 時事通信 ほかにございますか。よろしいでしょうか。

幹事社質問：（１）東京都知事選挙について

（２）衆議院議員選挙について

じゃ、幹事社から代表質問２点伺います。

１点目が東京都知事選挙についてです。報道ベースでほぼ主な候補者が出そろいましたけれども、誰を支援、支持されるか、理由もあわせて伺いたいと思います。なお、争点として注目する点についても教えてください。

２点目が、都知事選と同じ日に行われます衆議院選についてです。これまで約３年間民主党政権でしたけども、それに対する評価が問われますが、選挙後どの政党に政権担当能力があるとお考えか、理由もあわせて伺わせ

てください。お願いします。

○ 市長 それでは、まず都知事選挙についてのご質問からお答えをしたいと思います。

まず、都知事選について、争点についてはですね、これは有権者であります東京都民の皆さんが何を争点として投票を判断されるかを考えていただくということでございますので、私自身としては、それらを申し上げる立場にはない、と考えております

ただ、東京都知事選挙であります、やはり東京都は我が国の地方自治体の代表格でもありますし、また九都県市首脳会議でも積極的に首都圏をリードする取り組みをしていただいております。そういう意味からも、さいたま市長としての立場では、東京都のことだけではなくて、首都圏あるいは広く日本全体についてもしっかりと目配りができる、あるいはそういった視点を持った方に都知事になっていただければありがたいと考えております。

そういう意味では、九都県市首脳会議等で猪瀬さんも何度か知事代理で九都県市の会議に出席をされまして、いろいろと具体的なご提案をいただいておりますし、大変立派な方であるというように考えておりますが、私としては松沢さんを昔から存じ上げておりますし、神奈川県知事をされていたときに、九都県市でもかなりリーダーシップを発揮され、首都圏共通の課題についても積極的に提案されてきた方でもあると考えております。

また、そういった首長としての能力も大変高い方だと私自身は感じておりまして、個人的には頑張ってもらいたいと考えております。ただ、支援をするとか支持をするとかということではございませんで、あくまでも個人的な思いといいますか、感想ということでございます。

それから、次の衆議院選挙についてでございますけれども、この衆議院選挙については、争点としては震災復興だとか、あるいは経済財政政策だとかエネルギー政策だとか、また地域主権改革あるいはTPP、また近隣諸国との外交問題など、さまざまにあると思いますけれども、私自身としては、経済財政政策、また地域主権改革について各党がどのように主張されるかについて注目をしていきたいと考えております。

また、政権担当能力については、やはりそれぞれ国民の皆さんが不安に

思っておられるところがあると思いますので、過去3年見てくると、民主党はマニフェストどおりに進まなかった点が多々あったのではないかと感じております。また、自民党は3年前の状態から本当に生まれ変わったのかどうかということが問われるのではないかと感じております。

また、第三極はまだ実績がなかったり、主張の隔たりがあって、大丈夫かという心配の声もあるというように聞いておりまして、そういう意味では今後各政党の政権公約あるいはマニフェストと呼ばれるものが出てまいりますので、それをもとに論戦が繰り広げられると思いますので、その中で財源はどういうふうになっているのかとか、そういったことも含めて国民の皆さんがそれを判断をしていただくということがいいと思っております。

- 時事通信 代表質問に関連して質問がある社をお願いします。

幹事社質問に関する質問

- 埼玉新聞 埼玉新聞です。今のですね、争点についてなんですけれども、特に埼玉県、さいたま市とも関係があると思われるTPPとですね、それと地域主権改革と関連するんですが、たしか消費税の地方財源化というのはですね、複数の政党が主張されていますけれども、その2点について市長のお考えがあればお聞かせください。

- 市長 そうですね。1つは、TPPについては、これまでも議会等でも申し上げてきておりますけども、一概にこれに取り組むべき、あるいは取り組まないほうがいいということは、ちょっと今この場では申し上げられませんが、さまざまな視点でどういうふうに影響があるのか、このTPPに入ることによってメリットとデメリットが当然出てくると思います。

そういったことを十分に精査をしながら、かなり今後の日本の経済発展であるとか、あるいは経済成長といったものに大きくかかわってくる分野でもありますので、この辺についてはもう少し慎重に議論をしていくことが必要ではないかと思っております。

それから、もう一つの地方財源化については、消費税の地方財源化については私たちも、大まかに言えば、それについてはこれまでも地方財源化をしてほしい、ある一定の部分については地方財源化を図ってほしいと申

し上げてきておりますので、この地方財源化については私たちとしては進めてほしいというふうに思っております。

○ 埼玉新聞 追加なんですが、地方財源化に関してですね、それによって強いところと弱いところ、地域間格差が広がるのではないかという懸念を示す声もありますが、それについてはいかがでしょう。

○ 市長 1つは、国が所得の再配分をしていく、そういう格差を是正するためにそういった配分をしていく、ということももちろん機能としては失われてはいけないと思っておりますし、ただあわせて地域主権、あるいは地方分権というふうに言われている中で大切なのは、もう国一律で何かをやっていくというよりは、やはり地域がそれぞれ独自の政策をどんどん打ち出して、その地域の特性に合った対応をしていくということが、私は大変重要だと思っております。

その際に大変重要なのは、権限と、やはり財源がセットで地方にあるということなんですね。現状としては、そういった財源という意味では極めて乏しい状況があると考えておりますので、そういう中でやはり消費税が地方財源化するということは、その一つにもなってくると思いますので、そういう意味で賛成をしているということです。

○ 埼玉新聞 その懸念される地域間格差が生じないようにするための担保というのは、どういうふうに考えられますか。

○ 市長 その地方財源化についてもいろんな党が、その再配分する割合をどのくらいにするかとか、そういうちょっと細かい議論が必要だと思っているんですね。ですから、その辺の割合だとか、(財源が)国のほうに来て、それを国がやる部分の政策、特に消費税については社会保障の分野ですね、そういう国全体として対応していかなければいけない政策の分野と、あとは地方財源化される部分は、(例えば)地方が独自で今いろいろやっている子育て支援策等はかなりたくさんあります、しっかりと財源を確保していただくということが、今後地方が自立的に活動していく上でも大変重要だと思っているので、今この場で何%をどうかということまでは申し上げられませんけども、当然消費税増税した分の一定の割合は、地方財源化していただくということが必要だと思っています。

○テレビ埼玉 よろしいでしょうか。衆院選に絡んでなんですけれども、選挙戦が本格

化してくると、当然その応援演説のご依頼とかもあると思うんですけども、そういった特定の候補者ですとか特定の政党の応援に、市長は入られるという予定はあるんでしょうか。

○ 市 長 私自身は、今124万人市民の代表という中で市政を預らせていただいているという立場であると考えておりますので、現時点では特定の政党だけに何々をするということは考えておりません。

○テレビ埼玉 ということは、応援演説のご依頼があったとしても行かないというか。

○ 市 長 同じ、要するに各党同じようなやり方でやらせていただくか、あるいは全くやらないかということになるんだと思います。要するにそこで濃淡は、基本的にはつけないということです。

○ 時事通信 ほかがございますでしょうか。

それでは、代表質問以外で質問がある社をお願いします。

その他：「東京オリンピックの誘致について」

○ 埼玉新聞 埼玉新聞ですけども、冒頭の挨拶の中でオリンピックの話が出ましたが、さいたま市内で何か競技を誘致という話は出ているんでしょうか。

○ 市 長 東京オリンピックですね。

○ 埼玉新聞 はい。

○ 市 長 東京オリンピックは、サッカーが埼玉スタジアム2002でということを知っておりますし、それをやっていただくということも私たちにとっても大変ありがたいことだと思っております。それから、それに加えて東京にたくさんの方が来ていただくということはこのオリンピックの試合を見に来る前後は、当然その周辺に観光に行ったり、あるいはそういった外国人観光客などが来ることが予想されますので、私たちとしては首都圏全体でそれをしっかりと応援をして、そういった対応をしっかりとしていこうという、そんな思いでこの間首都圏連合フォーラムの際に、自治体と、それから各地区の商工会議所の皆さんと一緒に首都圏を挙げて応援しましょうということを改めて決議をさせていただいたところです。

○ 埼玉新聞 そうすると、現時点では埼玉スタジアムだけということで。

○ 市 長 はい、そうですね。

○ 埼玉新聞 今後、例えば要望されたりとか、そういうことはあるんですか。

○ 市長 それぞれもう計画をつくって提案をされて、東京都はコンパクトな運営をされるという方向の中で決められているというふうに聞いておりますので、その方針がどこまで変わってくるかはわかりませんが、状況によってそういったケースも出るかもしれませんけれども、現時点ではサッカーが来ていただけるということもございますし、またサッカーが来るということだけではなくて、首都圏全体で、あるいは日本全体で盛り上げていくことが必要だと考えておりますので、積極的な誘致活動、この機運をしっかり私たちも盛り上げていきたいと思っております。

○ 時事通信 ほかいかがでしょうか。

その他：職員の死亡について

○ 東京新聞 東京新聞です。ちょっと暗い話になるんですけども、今百条委員会がやられていまして、この間参考人と証人喚問があったんですけども、その前日に報道で、その当日の報道でなんですけども、呼ばれる予定だった当時の課長さんが亡くなられたという、警察での取材では自殺だということだったんですけども、今後市長は処分や再発防止策なども検討されていたと思うんですが、それに関して何か影響があるとか、例えば何かちょっと聞けない、何かちょっとしこりの悪いものがあるなど私は思うんですけども、何か受けとめなどあれば、教えていただければ。

○ 市長 まず、死因につきましては、私から申し上げるのは控えさせていただきたいと思っております。市幹部職員として市政の推進に当たって大変ご尽力をいただいていた方でございますので、突然の訃報に接しまして、大変残念であり、また心痛のきわみでもございます。遺族のご心痛を察するに余りありますけども、故人のご冥福を心からお祈りを申し上げたいと思っております。

また、今後の調査、あるいは関連のその処分等についてはですね、現状としては今第三者委員会並びに百条委員会でその真相究明等、調査をしていただいておりますので、それらを受けてと私ども考えておりましたので、その中で判断をしていくということでありまして、いずれにしましても、こうしたことが突然起こったということは、私たちにとって大変残念なことだと思っております。

○ 東京新聞 じゃ、特に、今死因は申し上げられないとおっしゃったんですけども、

その背景に何があったかとか、そういうところ辺まで例えば調査したりとか、何か警察のほうに、その後ですけども、全部調査が終わった後に例えば警察に相談するとか、そういうことも今のところはまだ考えられていないですか。

○ 市 長 原因等については、警察のほうも当然調べたりするでしょうから、そういったものを待つことになると思いますけど、基本的には私たちとしてはご遺族の意向などもありますので、そういったことを十分に踏まえて対応していくということになると思います。

○ 東京新聞 じゃ、遺族の意向も踏まえつつ、第三者委員会、百条委員会、また警察の調べなどを通じて、最終的には市長が今後の再発防止、処分等を決められるということですね。

○ 市 長 はい。

○ 東京新聞 わかりました。

○ 時事通信 ほかございますでしょうか。よろしいですね。

では、以上で終了させていただきます。ありがとうございました。

○ 進 行 以上をもちまして、市長定例記者会見を終了させていただきます。

なお、次回の開催につきましては12月12日水曜日、13時30分からを予定しておりますので、どうぞよろしく願いいたします。お疲れさまでございました。

午後1時33分閉会

この議事録は、明らかな言い直し、重複した言葉遣いなどを読み易く整理したものを掲載しています。なお、会見後追加・訂正等された文言等については()あるいは「会見後訂正」とし、下線を付しています。